

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：アロシット専用シンナー
 会社名：A&E システムズジャパン株式会社
 住 所：石川県金沢市湊2-120-15
 電 話：076-255-0461
 FAX : 076-255-0462

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性 引火性液体：区分2

健康に対する有害性

目に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分2B

生殖毒性：区分2

特定標的臓器毒性（単回暴露）：区分3（気道刺激性）

特定標的臓器毒性（単回暴露）：区分3（麻酔作用）

吸引性呼吸器有害性：区分2



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

眼への刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

（気道刺激性）呼吸器への刺激のおそれ

（麻酔作用）眠気及びめまいのおそれ

長期または反復暴露により臓器の障害のおそれ

飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ

物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一物質

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
アセトン	≥95	67-64-1	(2)-542

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分 アセトン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分 アセトン

4. 応急措置

一般的な措置

気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受ける。暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受ける。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚に付着した場合

皮膚(または毛)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ捨て流水／シャワーで洗う。眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受ける。

飲み込んだ場合

無理に吐かせてはならない。直ちに医師に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用する。粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂

消火を行う者の保護

防火服や耐火服を着用する。断熱手袋や保護眼鏡等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩した場合、漏洩物を回収する。作業には適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

回収、中和並びに封じ込め及び浄化の方法／機材

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。すべての発火源を取り除く（近傍での喫煙、火花や火災の禁止）漏洩物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。関係者以外は近づけない。

7. 取扱い及び保管上の注意

技術的対策

(取扱者の暴露防止)

蒸気を吸入してはならない。指定された個人用保護具を使用する。容器を接地する／アースをとる。静電気放電に対する予防措置を講ずる。

安全取扱い注意事項

換気の良い場所で使用する。必要な保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

施錠して保管する。

換気の良いところで保管する。容器を密閉する。

直射日光を避ける。

冷暗所にて保管。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

作業環境評価基準（2004） $\leq 500\text{ppm}$

許容濃度

日本産衛学会（1972） 200ppm ； $470\text{mg}/\text{m}^3$

ACGIH（1996）TWA； 500ppm STEL： 750ppm （上気道及び眼刺激、中枢神経損傷、血液影響）

保護具

呼吸器の保護具

換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を着用する。

手の保護具	保護手袋を着用する。
目の保護具	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護手袋及び保護衣を着用する。顔面保護具を着用する。
衛生対策	取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状：無色透明液体
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲	
初留点/沸点：≥56.0°C	引火点/密度：0.7910 (20°C) 水に対する溶解度：溶ける

10. 安定性及び反応性

安定性 予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定と考えられる。

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ	マウス	LD50	3000mg/kg
経皮毒性成分データ	ラビット	LD50	20g/kg
吸入毒性成分データ	ラビット	LCL0	16000ppm/4H
労働基準法 疾病化学物質	アセトン		

局所効果

皮膚腐食性/刺激性成分データ ラビット 100mg/24H ; MODERATE

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ ラビット 395mg open ; MILD ラビット 500mg/24H ; MILD

発がん性

(アセトン)ACGIH-A4(1996)：ヒト発がん性因子として分類できない

(アセトン)EPA-I；発がん性を評価する情報が不十分(2005)

12. 環境影響情報

環境有害性

水生毒性 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱に注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

(アセトン)魚類(ファットヘッドミノー) LC50>100mg/L/96hr (EHC207, 1998)

水溶解度 (アセトン)混和する (ICSC, 1994)

生体蓄積性 (アセトン)log Pow=-0.24 (ICSC, 1994)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

廃棄物は、許可を受けた、産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。

排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 番号：1090 クラス：3
容器等級：Ⅱ 品名（国連輸送名）：アセトン 指針番号：127

海洋汚染防止法

有害液体物質（Z類）：アセトン

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法 第2種有機溶剤等：アセトン

名称表示危険／有害物（令18条）：アセトン

危険物・引火性の物（ $-30^{\circ}\text{C} \leq \text{引火点} < 0^{\circ}\text{C}$ ）

名称通知危険／有害物（第57条の2、令第18条の2別表9）：アセトン

化学物質管理促進（PRTR）法に該当しない。

消防法 第4類 引火性液体第1石油類水溶性液体 危険等級Ⅱ

船舶安全法 引火性液体類

航空法 引火性液体

適用法規情報 PRTR法 非該当（09年10月改正PRTR対応済み）

16. その他の情報

参考文献

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 16th edit. UN

2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2009 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z 7250（2005年）「化学物質等安全データシート」

原材料／製品メーカー MSDS

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。